

義なる判事が任命されるよう祈る

2008年9月23日 アシエル・イントレーター

聖書の中で最も重要なテーマの一つは裁きです。裁きは単純に 1) 悪を罰する、2) 正しい者に報いる、そして 3) 無実な人を釈放する、という意味があります。最終的に裁きに責任を持たれる方は神ご自身です。しかし主は裁きのシステムを人の手に判断を委ねられました。

裁判長として任命されたのはイエシュア(イエス)ご自身です。

**使徒 17:30-31**

神は、(中略)今は、どこでもすべての人に悔い改めを命じておられます。なぜなら、神は、お立てになったひとりの人により義をもってこの世界をさばくため、日を決められておられるからです。(後略)

**ヨハネ 5:22**

また、父はだれをもさばかず、すべてのさばきを子にゆだねられました。

**II コリント 5:10**

なぜなら、私たちはみな、キリストのさばきの座に現われて、善であれ悪であれ、各自その肉体にあってした行為に応じて報いを受けることになるからです。

この世界にやってくる裁きは、イエシュアの手の中にあるだけでなく、主の司法チーム、主の補佐役、主の法律の専門家の手にあります。そして彼らは誰でしょうか。主によって訓練を受け、弟子とされた人々が義なる裁きを協力して行うことができるのです。

**I コリント 6:2**

あなたがたは、聖徒が世界をさばくようになることを知らないのですか。世界があなたがたによつてさばかれるはずなのに、あなたがたはごく小さな事件さえさばく力がないのですか。

**マタイ 19:28**

(前略)わたしに従って来たあなたがたも十二の座に着いて、イスラエルの十二の部族をさばくのです。

ある人々は、福音は裁きをまったく排除したと間違っって考えています。それは正しくありません。贖いの提供そのものは法的な恩赦であるからです。もし司法システムがなければどうして恩赦が与えられるのでしょうか。

自分の犯罪を悔い改めて、そして赦して下さいた方を信じる人に赦しが与えられます。もし悔い改めが要求されなかったら、寛容は犯罪を正当化するものとなってしまいます。福音のメッセージは「悔い改め、信じる」ことから始まります。

もし恩赦を与える人が裁く権威がなければ、恩赦の提供はありえないのです。恩赦を与える権威を持っている人は、同様に裁く権威を持ってなければなりません。イエシュアが人々を赦すと言った時、主は彼らの判事としての地位を帯びているのである。最初の降臨時に罪を赦して下さいた方は、再臨時に罪を裁かれるのです。

裁きはたった1回の「審判の日」の問題ではありません。それは神の義の基準を実施する継続したシステムなのです。この世界で信頼おける者であることを証明した者は、いずれやってくる神の御国においてそのような義を実施する一員となるのです。裁きと支配は神の政府においてつながっています。

この世の一生の間、裁きは判事、立法機関、裁判所、そして警察という組織によって実施されています。これらの立法者や法の執行官はしばしば正しい裁きを実施しないが、これが彼らに与えられた職務です。

#### 申命記 16:18-20

(前略)あなたの部族ごとに、さばきつかさと、つかさたちを任命しなければならない。彼らは正しいさばきをもって民をさばかなければならない。あなたはさばきを曲げてはならない。人をかたよって見てはならない。わいろをとってはならない。(中略)正義を、ただ正義を追い求めなければならない。

何とすばらしい御言葉がトラーの中にあるのでしょうか。これは裁きの義なる基準を構築し、そしてその基準に則して実施する司法システムを構築するのです。判事の任命は神によって決定されます。それゆえ、裁きを実施する者は神の「代行者」なのです。

注:政府は3権に分立しています。1. 立法府—立法者、2. 裁判所—判事、3. 行政府—法執行官です。これら3つの役割は神の権威の3つの側面を表します。(イザヤ 33:22—まことに、主は私たちをさばく方、主は私たちの立法者、主は私たちの王(後略))。立法府、裁判所、行政府3権はみな神の代行者としてみなされます。

#### ローマ 13:1,4

(前略)存在している権威はすべて、神によって立てられたものです。それは、彼があなたに益を与えるための、神のしもべだからです。もしあなたが悪を行うなら、恐れなければなりません。彼は無意味に剣を帯びてはいないからです。彼は神のしもべであって、悪を行う人には怒りをもって報います。

福音を述べ伝える者としての私たちの仕事は、人々はイエシュアを通して神の赦しを受け入れ、それによって彼らが神の怒りを受けないようにするためです。

預言者としての我々の仕事は神の義なる基準を宣言することで、人々は悔い改め、その赦しを受けるにふさわしい者となるようにするのです。

執り成し手として我々の仕事は、正しい人が判事となるように祈り、その業務に就いている人々が神の義なる基準を用いるよう祈るのです。

どれほど神はご自身の民が預言者としての召命を取り戻し、この世界に主の義なる基準を宣言することを待っておられたことでしょうか！

**アモス 5:24**

**公義の水のように、正義をいつも水の流れる川のように、流れさせよ。**

政府で任命された地位に義なる判事が回復されるように祈ることはどれほど重要でしょうか！

**イザヤ 1:26**

**こうして、おまえのさばきつかさたちを初めのように、おまえの議員たちを昔のようにしよう。そうした後、おまえは正義の町、忠信な都と呼ばれよう。**

この神の約束は毎日正統派ユダヤ教徒が祈りの中で引用しているものです。

私たちアモスのような預言者としての召命を持ち、神の義なる基準を宣言し、イザヤのように議なる判事が任命されるように祈るのです。この預言者としての召命が成就するよう、そして神が私たちの目の前で歴史の流れと政府を変えて下さるよう求めましょう。

私たちリバイブ・イスラエルとして、アメリカのカリフォルニア州にあるサンディエゴで11月1日に開催される「ザ・コール：カリフォルニア」に参加する友人たちを支援したいと思っています。どうかこの重要な祈りと断食の季節において皆さんも私たちに加わって頂きたいと思っています。詳細は後日ご連絡します。